

■ 応募方法

応募用紙に必要事項をご記入のうえ、郵送、FAX、メールのいずれかでお申込みください。

※メールでお申込みの場合は、件名を「劇場塾参加申込み」としてお送りください。受付後、こちらから確認メールを返信いたします。

■ 応募締切

基礎クラス・地域文化コーディネートクラス共通 **11月5日(日)必着**

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
結果は、10日前までに郵送にてお知らせいたします。
※複数クラスへの参加も可能です。

オープンレクチャー **12月4日(月)必着**

※先着順(予定人数に達し次第、締切)

■ お申込み・お問い合わせ

北九州芸術劇場「劇場塾2017」係

KIYAKYUSHU PERFORMING ARTS CENTER
〒803-0812 北九州市小倉北区室町1-1-11 7階
TEL 093-562-2620 / FAX 093-562-2633
MAIL gekijoujuku@kicpac.org

劇場塾 2017 応募用紙

※枠内に収まるようにご記入ください。 ※コピー可。

希望 ※希望クラスの口に✓をつけてください。(複数可)

- 地域文化コーディネートクラス(11/22~23)
- オープンレクチャー vol.1(12/23)
- 劇場基礎クラス(11/28~29)
- オープンレクチャー vol.2(12/26) ① ②

フリガナ	性別	年齢
氏名	男・女	
住所 〒		
所属先(文化施設等にお勤めの方は施設名をお書きください)		
職種	勤続年数	
電話番号	携帯電話	
MAIL		
応募動機		

ご記入いただいた個人情報は、本講座のために使用いたします。また、今後の講座のご案内などを送付させていただく場合がございます。 □ 希望しない
今後のご案内の希望をされない場合は、右記の欄にチェックをお付けください。



【新幹線】新幹線小倉駅より西小倉駅へ在来線で2分、西小倉駅より徒歩3分
【空 港】北九州空港よりエアポートバスで小倉駅まで約40分
【J R】小倉駅より徒歩10分。西小倉駅より徒歩3分
【バ ス】室町・リバーウォーク(リバーウォーク北九州前)下車
【乗用車】北九州都市高速、小倉駅北ランプから車で5分
※専用の駐車場はございません。リバーウォーク北九州(30分150円)ほか周辺の駐車場をご利用ください。

劇場塾 2017 参加者募集

「地域文化コーディネートクラス」/ 2017年11月22日(水)~23日(木祝)
「劇場基礎クラス」/ 2017年11月28日(火)~29日(水)
「オープンレクチャー」/ 2017年12月23日(土祝)、26日(火)

北九州芸術劇場 小劇場・創造工房



今、劇場や舞台芸術を取り巻く環境は日々変化を続けています。
北九州芸術劇場では、これからの地域文化の振興を担う人材の育成や人的ネットワークの形成を目的に、舞台芸術分野の専門家を招いたレクチャーやワークショップなどを開催します。

▶ 郷土芸能と一緒に 次のステップへ

▶ 地域文化コーディネートクラス(11/22~23)
「郷土芸能・祭りをつくる未来」
講師:小岩秀太郎(公社)全日本郷土芸能協会事務局次長/東京府代表)

▶ 企画を立てた その先には?

▶ 劇場基礎クラス(11/28~29)
「想いをカタチに!“つくる”にチャレンジ」
講師:北九州芸術劇場職員、有門正太郎(演出家・俳優)

▶ オープンレクチャー

▶ (12/23, 26)
講師:木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)
菅原直樹(「老いと演劇」OIBokkeShi主宰)

主催:(公財)北九州市芸術文化振興財団 共催:北九州市 助成:(一財)地域創造 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

大好きな街を文化で盛り上げたい方はこちら!

地域文化コーディネータークラス 「郷土芸能・祭りをつくる未来」

地域の文化を担う人材を育成するためクラスです。
双方向のゼミ形式で行い、ワークショップ体験なども行います。

▶いま、「郷土芸能・祭り」が地域独自の文化として、また地域コミュニティを構築する場として注目されています。一方で次世代への継承や、参加機会の減少など課題もあります。今回は、伝統を守りつつ新しい出会い作りの試みに挑戦する小岩秀太郎氏を講師にお招きし、「郷土芸能・祭り」の力に触れ、その力を活かした地域の未来づくりを共に考えます。

日程: 2017年11月22日(水)~23日(木祝) 2日間
対象: 地域文化のコーディネーターに関心のある方、郷土芸能・祭りに関心のある方、公共ホール職員、地方公共団体文化行政担当者、教育・福祉・NPO等関係者、アーティスト、学生など

定員: 20名程度
参加費: 2,000円
講師: 小岩秀太郎(公社)全日本郷土芸能協会事務局次長/東京鹿踊代表

古くさい、変わらないもの、つまらない。「郷土芸能」は今、先入観に絡めとられて消えゆくように感じています。一方で、東日本大震災後、なぜか被災地域の芸能やお祭りが次々と復活しました。時を同じくして、若者、アーティストやダンサー、外国人など多分野の人々が地域の芸能を再発見し、注目を寄せ始めています。新しい?変わっていくもの?面白い?未来と地域に芸能を活かせるのか、体験し考える2日間です。

profile

小岩秀太郎 [こいわ・しゅうたろう]
(公社)全日本郷土芸能協会事務局次長/東京鹿踊代表
1977年岩手県生まれ。小学校から郷土芸能「鹿(シシ踊)」を始める。東京の大学で外国語文化を学び、台湾での留学を経て、自らとそれを形作る文化について考えるようになる。帰国後、郷土芸能のネットワーク組織(公社)全日本郷土芸能協会(東京)に入職。芸能の魅力発信や震災復興支援、コーディネーターに携わる。また、故郷の出身者や有志とともに「東京鹿踊」を組織し、風土とその暮らしの中で受け継がれてきた地域文化(芸能、祭り、技、食など)の継承と発展、関わり方の入口をデザインする企画提案を行っている。縦糸横糸合同会社代表(宮城県仙台市)、行山流舞川鹿子躍伝承者(岩手県一関市)。



schedule

11月22日(水) 18:00~20:40

18:00~19:00 **体験する**

「郷土に伝わる芸能とは?」
~岩手県・鹿踊(ししおどり)を体験~

岩手県に伝わる鹿踊(ししおどり)を例に、郷土芸能を体験してみます。

19:10~20:40 **知る・考える**

「郷土芸能・祭りから地域を紐解く」
~コーディネーターに必要な視点とは~

地域と密接な関わりがある「郷土芸能・祭り」において、コーディネーターの意義やその可能性、必要な視点について考えます。

11月23日(木祝) 10:30~16:30

10:30~12:30 **知る・考える**

「新しい出会いをみつける」
~地域全体でつなぐ郷土芸能・祭り~

郷土芸能・祭りの魅力をどのように知り、伝えていくことができるのか。新たなアプローチに挑戦する事例を紹介いたします。

13:30~16:00 **知る・考える 繋がる**

「郷土芸能とつくる未来ワークショップ」

これまでの講座をふまえて、グループトークを行います。また、「郷土芸能・祭り」でどのような企画が考えられるか、グループで一緒に考えます。

16:00~16:30

振り返り

能、狂言、文楽や歌舞伎などの伝統芸能は、先人たちの「知」の結晶です。そればかりでなく、ちょっと見方を変えれば、POPで、前衛的で、コンテンポラリーな舞台芸術としても楽しむことができます。本講座では、能狂言の成立から文楽と歌舞伎の誕生と隆盛まで、日本芸能史を楽しく紐解きつつ、様々な角度から伝統芸能の「古典性」と「現代性」の両面の魅力について一緒に学んでいきたいと思っております。ピナーの方も大歓迎です。

profile

木ノ下裕一 [きのした・ゆういち]
1985年和歌山市生まれ。2006年、京都造形芸術大学在学中に古典演目上演の演出や補綴・監修を自ら行う木ノ下歌舞伎を旗揚げ。代表作に『黒塚』『心中天の網島』『義経千本桜一渡海屋・大物浦』『東海道四谷怪談一通し上演』など。2016年に上演した『動進帳』の成果に対して、平成28年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。平成29年度京都市芸術文化特別奨励制度奨励者。その他古典芸能に関する執筆、講座など多岐にわたって活動中。



芸術文化に 広く関心のある方はこちら!

オープンレクチャー

上記2コースのほか、舞台芸術に関心のある方々にもご参加いただける講座を開催いたします。

※受講料=500円
※要事前申込み・先着順(予定人数に達し次第、締切)
②『老いと演劇 - OiBokkeShiの試み-』は各回お申込が必要です
※詳細は北九州芸術劇場HPをご覧ください。

「つくる」にチャレンジしてみたい方はこちら!

劇場基礎クラス 「想いをカタチに!」 「つくる」にチャレンジ!

劇場・音楽堂等に関わる制作・舞台技術の基礎的な知識を、体験型ワークショップを交えて学ぶクラスです。

▶「ホール独自の企画を考えたい!」「地域の人と一緒に何かを作りたい!」気持ちはあるのに、「どうやって」「だれと」そして「どうすれば」この想いをカタチに出来るのでしょうか? また企画を立てて、実行していくためにはどんなことが必要になってくるのでしょうか? 今回の劇場基礎クラスでは、北九州芸術劇場の企画を紐解きながら、「つくる」について一緒に考えます。

日程: 2017年11月28日(火)~29日(水) 2日間
対象: 公共ホール職員、制作者、劇場技術管理者、地方公共団体文化行政担当者、学生など

人数: 20名程度
参加費: 2,000円
講師: 北九州芸術劇場職員、有門正太郎(演出家・俳優)

profile

有門正太郎 [ありかど・しょうたろう]
(演出家・俳優)
1975年生、北九州市出身。倉本聰主宰「富良野野郎」泊篤志代表「飛ぶ劇場」を経て2005年「有門正太郎プレゼンツ」を始動。俳優として様々な全国ツアー公演などに参加する傍ら、北九州芸術劇場「日韓合同キャンプ、チャレンジ!えんげき」などの総合演出も務める。最近では空想写真ワークショップを全国各地で行い、小中学校でもアウトリーチ活動をしている。(一財)地域創造リジョナルシアター登録派遣アーティスト。



劇場からのメッセージ

「劇場・音楽堂等がつくる」と聞くと、作品創りをイメージしてしまいがちですが、その形は大きく変化を続けています。今回は北九州芸術劇場の企画を紐解いていきますが、この事例が答えではありません。みなさんのそれぞれの環境でどうやって「つくる」にチャレンジしていくことが出来るのか、2日間のプログラムを通して一緒に考えてみませんか?

schedule

11月28日(火) 13:30~18:00

13:30~14:30 **オリエンテーション**

「想いをカタチにするヒント!」
~北九州芸術劇場の企画から~

北九州芸術劇場の企画を劇場担当者とともに紐解いていきます。

・演劇的工場夜景ツアー「ひかりとけむり」
・地域のアートレパトリー創造事業「ギラダンス」
・北九州芸術劇場+市民共同創作「Re:北九州の記憶」

11月29日(水) 10:30~17:00

10:30~12:30 **体験する**

「イメージを豊かにするWS」
講師: 有門正太郎(演出家・俳優)

北九州の小・中学校で実際に行っているアウトリーチプログラムを体験。みなさんの創造の扉をさらに広げてみましょう。

13:45~16:30 **知る・考える 繋がる**

「考える・カタチにしてみるWS」
企画を立てて次に必要なものは?各セッションとの関わりは?など、企画を立てるだけでなく、カタチにしてみる第一歩を踏み出しましょう。

16:30~17:00

振り返り

演劇には介護の現場を豊かにするヒントが沢山詰まっています。ワークショップでは、認知症の人が見ている世界を想像したり、具体的ななかかわり方を演習したりします。演劇・介護経験は問いません。みなさんぜひお気軽にご参加ください!

profile

菅原直樹 [すがわら・なおき]
1983年栃木県宇都宮生まれ。桜美林大学文学部総合文化学科卒業。奈良町アート・デザイン・ディレクター。「老いと演劇」OiBokkeShi主宰。平田オリザが主宰する青年団に俳優として所属。2010年より特別養護老人ホームの介護職員として勤務。2016年より岡山県赤松町に移住。介護と演劇の相性の良さを実感し、地域における介護と演劇の新しいあり方を模索している。認知症ケアに演劇手法を活かしたワークショップを全国各地で実施。



vol.1

『古典芸能入門』 ~現代から紐解く古典の魅力~

講師: 木ノ下裕一(木ノ下歌舞伎主宰)
日時: 2017年12月23日(土祝) 14:00~16:00
会場: 北九州芸術劇場 創造工房 稽古場



vol.2

『老いと演劇 - OiBokkeShiの試み-』

講師: 菅原直樹(「老いと演劇」OiBokkeShi主宰)
日時: 2017年12月26日(火)
① 10:30~12:15
レクチャー「聴いて・見て学ぶ」定員60名
② 13:30~16:30
ワークショップ「体験して考える」定員30名
会場: 北九州芸術劇場 小劇場

